

## 5 北部地区（中津市・宇佐市・豊後高田市）

### 【流域の概要】

北部地区は、中津・宇佐平野と丘陵台地からなる犬丸川、伊呂波川や寄藻川などの流域、県内最大の二級河川である駅館川流域、国東半島西部に位置する桂川や真玉川などの流域で構成される。

犬丸川、伊呂波川や寄藻川などの流域は、周防灘に面した中津・宇佐平野からなる沖積平野の低地と洪積台地からなる台地の丘陵台地で構成される。高度分布からみると、標高50m以下の低地・台地が大半を占め、西・東部の行政区境付近に八面山や御許山等の500～600mの山々が駅館川を中心に西方向へ高度を増やしながら続いている。これらは比較的傾斜が緩く、大部分が傾斜度20度未満の山系である。全体的には周防灘に向かって傾斜した地形となっている。

地質は、洪積世前半の耶馬溪層、駅館川層そのほか新第三紀火山噴出物の層、それを覆う筑紫溶岩、そのほか火山岩などからなっている。宇佐平野は山麓の洪積台地とその前面の沖積低地からなる。地質は沖積地のうち礫を主とする地域、台地のローム・礫・基盤の地域によって構成されている。

駅館川流域の地形は、中上流域において、流域の外縁部をつくる峰々がほぼ円形に連なり、すり鉢状の流域形状を形成するとともに、下流域では広大な宇佐平野をほぼ直線的に貫流し、左岸側には河岸段丘が形成されている。

流域内の地質は、変性岩類や花河崗岩からなる地質基盤の上に、新第三紀以降の火山噴出物(火山岩類)が堆積した地質構成である。火山岩類の分布は流域中上流部に分布し、新生代第三紀後半に活動した豊肥・瀬戸内火山岩類と、それよりも新しい地質年代に活動した由布・鶴見火山岩類に分けられる。駅館川上流部の山間渓谷にみられる急崖・瀑布等の岩石景観は、これら火山性堆積物が風化・侵食を受けて形成されたものである。一方、流域下流部においては、河川堆積物で構成された沖積平野が形成されている。

なお、国東半島についての概要は、次項の「6 東部地区」に記載している。



犬丸川



駅館川

# 北部地区(中津市・宇佐市・豊後高田市)における整備目標

本計画は、「流域治水」のうち河川改修など河川管理者が行う対策についての方針をとりまとめたものである。

## 1 治水対策の現状

北部地区内の河川においては、平成9年9月台風第19号により犬丸川など、平成10年10月台風第10号により桂川などをはじめとして、たびたび家屋浸水被害を受けている。

こうした被害を防止または軽減するため、平成16年に犬丸川水系と天貝川水系、平成21年に桂川水系において、河川整備計画を策定し、河川改修を計画的に進めている。

その他の河川については、河床掘削などの応急的な対策やソフト対策により水害リスクの軽減を図っているが、更なるリスク軽減のため、河川改修により治水安全度の向上を図る必要がある箇所が存在している状況である。

これまでに、河川整備計画に基づき整備が完了している河川は、天貝川水系の天貝川、六反田川となっている。

また、「流域治水」を推進するため、北部地区の流域治水プロジェクトを令和3年8月に策定・公表している。

## 2 計画の対象河川

本計画の対象河川は、圏域内の二級河川の76河川とする。

## 3 河川整備の目標

河川整備の目標は、近年の家屋浸水被害、現況河道及び沿川の状況などを考慮し、以下のように設定する。

- 河川改修事業完了を図る河川：犬丸川、桂川、近広川
- 河川改修事業の進捗を図る河川：駅館川(障害防止)

## 4 河川整備の段階的な進め方

本支川及び上下流のバランス、事業進捗状況等を考慮し、長期的な展望の基で段階的・計画的に効果を発現させる。

また、併せてあらゆる関係者と協働して流域治水を推進し、大規模出水に対して防災・減災を図る。

### ○短期（～5年）

河川改修事業実施中の桂川において事業完了を図る。

犬丸川、近広川、駅館川(障害防止)については引き続き河川改修を進める。

### ○中期（5～10年）

河川改修事業実施中の犬丸川、近広川において事業完了を図る。

駅館川(障害防止)については引き続き河川改修を進める。

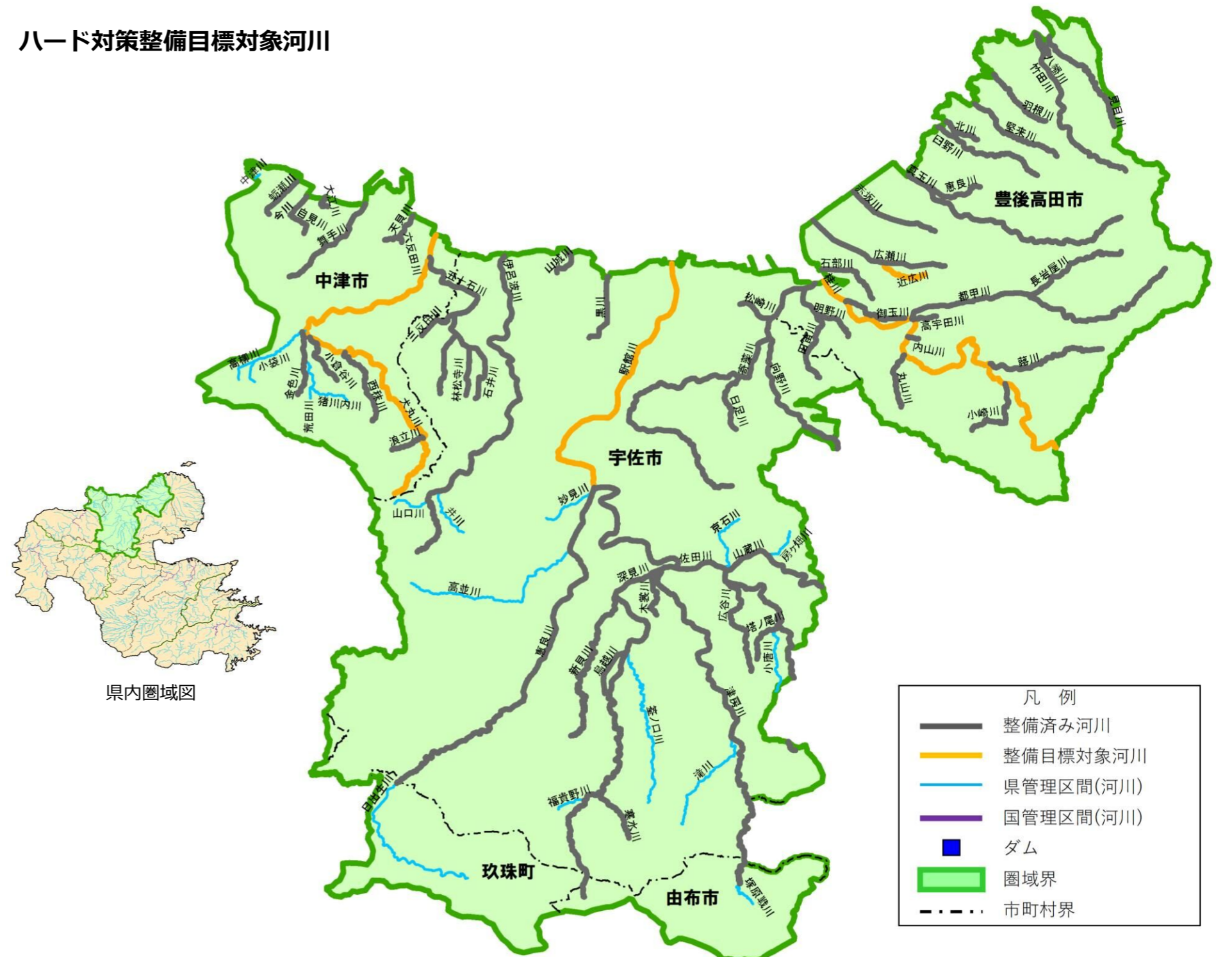
### ○長期（10年～）

駅館川(障害防止)については事業完了を目指す。

その他の河川については、気候変動による水害リスクの増大に備えつつ、今後の地域の実情や浸水被害の状況を踏まえ、必要に応じて家屋浸水被害の防止または軽減に向けた検討を進める。

(寄藻川、向野川など)

## ハード対策整備目標対象河川



※この図は、整備目標対象河川や整備済み河川を示したものであり、具体的な区間や箇所を示したものではありません。

## 5 河川整備の内容

### (1) ハード対策(治水施設の整備)

- 【優先的に改修を行う河川：  
犬丸川、桂川、近広川、  
駅館川(障害防止)】

### ○河川改修

既往洪水による浸水被害状況を踏まえ、家屋浸水被害の防止または軽減対策を行う河川及び、近年の降雨状況や気候変動を踏まえた場合に浸水被害が発生する可能性がある河川の観点から、次の4河川を優先的に改修を行う河川として選定した。

なお、優先的に改修を行う河川については、今後の家屋浸水被害の発生状況などにより、適宜見直しを行うものとする。

# 北部地区(中津市・宇佐市・豊後高田市)における整備目標

本計画は、「流域治水」のうち河川改修など河川管理者が行う対策についての方針をとりまとめたものである。

## (2) ソフト対策

### ○河川情報の提供

地域住民の避難行動を促すための視覚情報を充実するため、過去に浸水実績がある河川において水位計・河川カメラを設置(増設)する。

水位計・監視カメラ設置位置

水系名	河川名	設置位置	水位計	カメラ	関係市町名
犬丸川	犬丸川	犬丸橋	●	●	中津市
〃	〃	川面橋	●	●	〃
〃	五十石川	桜洲橋	●	○	〃
蛸瀬川	蛸瀬川	蛸瀬橋	●	●	〃
自見川	自見川	自見大橋	●	○	〃
駅館川	駅館川	小松橋	●	●	宇佐市
〃	〃	別府橋	●	●	〃
〃	津房川	上荘橋	●	●	〃
〃	深見川	安心院大橋	●	●	〃
伊呂波川	伊呂波川	伊呂波橋	●	●	〃
〃	〃	伊呂波大橋	●	○	〃
寄藻川	寄藻川	寄藻橋	●	●	〃
〃	〃	上町橋	○	○	〃
〃	向野川	玄川大橋	●	●	〃
桂川	桂川	泉橋	●	●	豊後高田市
竹田川	竹田川	樋ノ口橋	●	●	〃
真玉川	真玉川	千原橋	●	●	〃
石部川	石部川	堂之本橋	●	○	〃

※水位計・監視カメラ：● 既設、○ 設置予定

### ○防災意識の向上

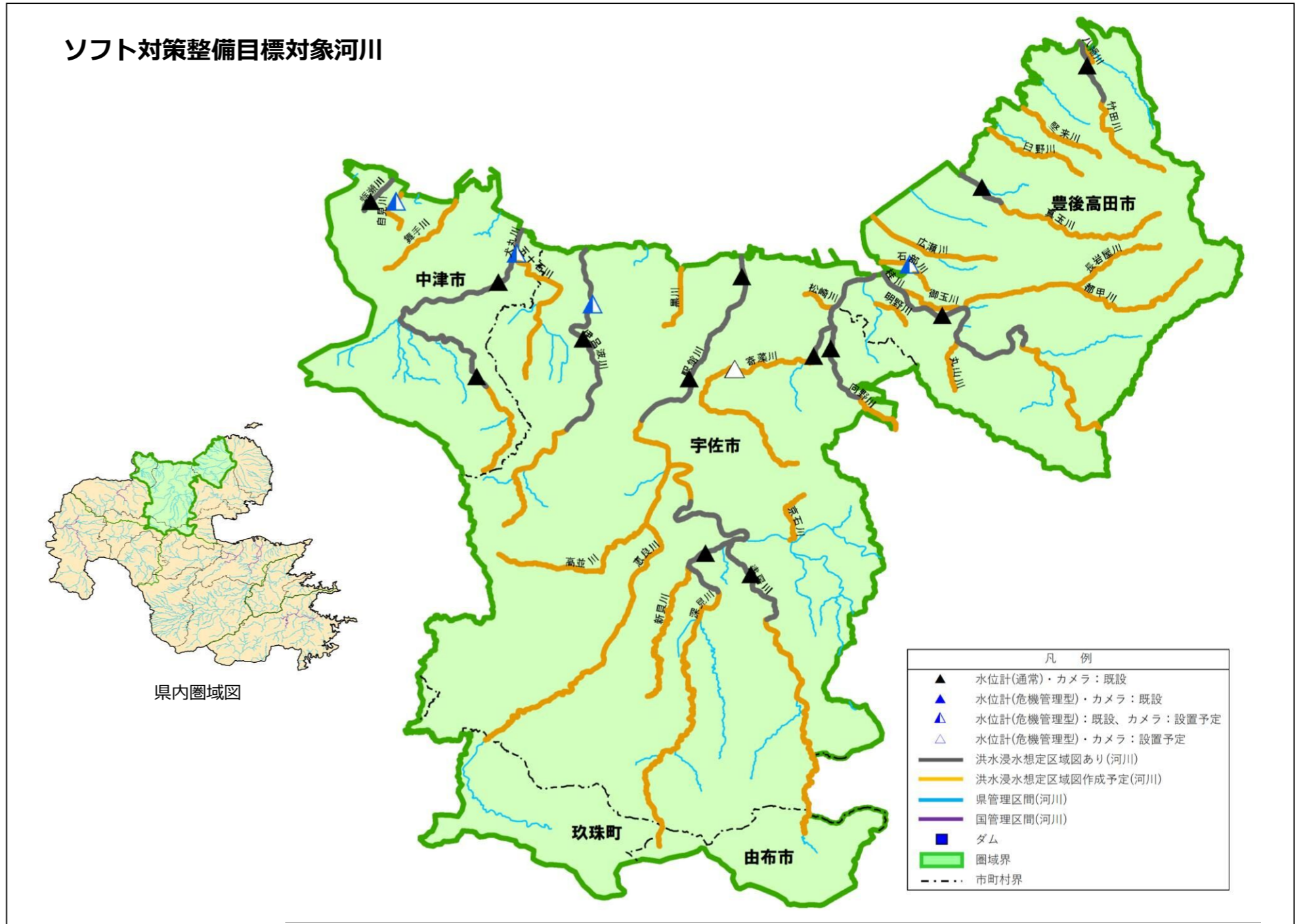
頻発する豪雨災害に対応するため、水位周知河川以外の中小河川のうち、「過去に浸水実績のある河川」、「河川背後地に資産(住居等)が集中する河川」、「要配慮者利用施設が近傍に存在する河川」において洪水浸水想定区域図を作成し、市町の洪水ハザードマップ作成を支援する。

洪水浸水想定区域図作成河川

水系名	河川名	作成状況	関係市町名	備考
蛸瀬川	蛸瀬川	●	中津市	水位周知河川
犬丸川	犬丸川	◎	〃	水位周知河川
〃	五十石川	○	中津市 宇佐市	
自見川	自見川	○	中津市	
舞手川	舞手川	○	〃	
駅館川	駅館川	◎	宇佐市	水位周知河川
〃	津房川	◎	〃	水位周知河川
〃	深見川	◎	〃	水位周知河川
〃	恵良川	○	〃	

※作成状況：● 作成済、◎ 追加作成予定、○ 新規作成予定

## ソフト対策整備目標対象河川



洪水浸水想定区域図作成河川

水系名	河川名	作成状況	関係市町名	備考
駅館川	高並川	○	宇佐市	
〃	京石川	○	〃	
〃	新貝川	○	〃	
黒川	黒川	○	〃	
伊呂波川	伊呂波川	◎	〃	水位周知河川
寄藻川	寄藻川	◎	〃	水位周知河川
〃	向野川	◎	〃	水位周知河川

※作成状況：● 作成済、◎ 追加作成予定、○ 新規作成予定

洪水浸水想定区域図作成河川

水系名	河川名	作成状況	関係市町名	備考
寄藻川	松崎川	○	豊後高田市	
〃	明野川	○	〃	
竹田川	竹田川	◎	〃	水位周知河川
〃	八幡川	○	〃	
真玉川	真玉川	◎	〃	水位周知河川
桂川	桂川	◎	〃	水位周知河川
〃	御玉川	○	〃	

※作成状況：● 作成済、◎ 追加作成予定、○ 新規作成予定

桂川の上流は杵築市のため、東部地区にも記載

洪水浸水想定区域図作成河川

水系名	河川名	作成状況	関係市町名	備考
桂川	都甲川	○	豊後高田市	
〃	長岩屋川	○	〃	
〃	丸山川	○	〃	
広瀬川	広瀬川	○	〃	
白野川	白野川	○	〃	
堅来川	堅来川	○	〃	
石部川	石部川	○	〃	

※作成状況：● 作成済、◎ 追加作成予定、○ 新規作成予定